

部会設立希望書

作成: 札幌市自閉症・発達障害支援センターおがる大館

部会名	理解促進部会
部会の必要性	2年間の活動の中で以下の課題が抽出されている ・リーフレットや予診票を作成して周知活動が続けているが、活用のイメージが湧きにくいなどの意見があった。モデルを作るなど、実際の使用に繋げていく取り組みの必要がある ・より広く発達障がいについて知っていただくための啓発イベントのあり方について、継続して検討していくことが必要 よって、今後も部会として活動を継続していきたい
部会の期間	令和8年7月～令和10年4月
部会のメンバー	保育・子育て支援センター、幼児教育センター、JDD加盟親の会代表者、ピアサポーター、障がい児地域支援マネジャー、相談支援部会 就労支援推進部会、障がい福祉課 札幌市自閉症・発達障がい支援センターおがる
部会の計画	年2回、会議を開催 ・作成したリーフレットと予診票の周知を広げていく。また、実際の活用につなげるための工夫を検討する。 ・おがるの啓発イベントへの参画
期待される成果	・使用する方々がイメージを持ちやすくすることで、活用につながる。また、実際に使ってみることで、課題を抽出し、内容や使用方法のブラッシュアップが期待できる ・既存のイベントをより多くの方が参加できるものに拡充する